

在スロバキア日本国大使館
政治・経済月報（2020年4月）

目 次

新型コロナウイルス

◆4月30日現在の感染者情報	2
◆入国者に対する政府指定施設における検査及び隔離義務	2
◆営業規制措置緩和に関する政府決定	3
◆オーストリアによる入国制限措置の強化	3
◆衛生政策研究所による感染拡大に関する最新予測	3
◆国内感染者数の減少傾向	4

内 政

◆政党支持率調査結果	4
◆連立与党による政権綱領の承認	4
◆国会による政権綱領の承認，マトヴィチ政権の信任	6

外 政

◆コルチョク外務・欧州問題相の正式就任	6
◆コロナ危機に関連したスロバキアによるイタリアへの支援	6

経 済

◆税制・労働法改正案の国会可決	7
◆財政政策研究所による最新の経済予測	7
◆欧州委員会によるスロバキアの雇用支援策の承認	8

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

新型コロナウイルス

◆4月30日現在の感染者情報（5月1日付保健省プレスリリース）

累積感染者数1403名（前日比+7名。30日の検査数は5150件。同日までの累積検査数は9万1072件）

同死者数23名（前日比+0名）

同治癒者数588名（前日比+34名）

◆入国者に対する政府指定施設における検査及び隔離義務

【4月4日付公衆衛生局プレスリリース】

4月6日午前7時から、スロバキアに入国する者は政府が指定する施設で新型コロナウイルスの検査を受けなければならない。検査の結果、陰性が確認された場合でも14日間の自主隔離を実施しなければならない（自宅で自主隔離を行う場合、同居する者も同様に自主隔離義務を負う）。

なお、以下の者は施設での検査を免除される（入国の際に帯同する近親者も同様に免除される）。施設での検査を免除される者についても、14日間の自主隔離義務を負う。

（1）妊婦
（2）身体障害者
（3）医学的な配慮が必要な者（腫瘍、精神疾患、免疫障害、特別な栄養摂取、慢性呼吸器疾患、心臓及び循環器疾患、代謝不全、てんかん、精神障害、定期的な点滴治療など。ただし、医師による証明書を遅滞なく提出しなければならない。）

（4）75才以上の者

【4月29日付公衆衛生局プレスリリース】

5月1日午前7時から、妊婦及び医学的な配慮が必要な者は、①健康状態に関して医師が発行した証明書（原本1通）、②96時間以内に発行された新型コロナウイルスの陰性証明書（原本1通）を提出する場合に限り、政府が指定する施設での新型コロナウイルスの検査を受ける必要はない。ただし、入国後14日間の自主隔離を実施しなければならない。同伴者についても、96時間以内に発行された新型コロナウイルスの陰性証明書（原本1通）を提出すれば、妊婦及び医学的な配慮が必要な者と同じ扱いとなる。

75歳以上の者及び障害者（並びに同伴者）は、96時間以内に発行された新型コロナウイルスの陰性証明書（原本1通）を提出する場合に限り、政府が指定する施設での新型コロナウイルスの検査を受ける必要はない。ただし、入国後14日間の自主隔離を実施しなければならない。

スロバキアに入国する全ての者は、かかりつけの医師に帰国した旨を、遅滞なく電話あるいはメールで報告しなければならない。かかりつけの医師がスロバキアにいない者は、各県の地元の医師に報告する必要がある。

◆営業規制措置緩和に関する政府決定

【4月21日付公衆衛生局プレスリリース】

4月22日午前6時より、店舗面積300平方メートル以内の小売店及びサービス業、屋外スポーツ施設、長期滞在者向け宿泊施設、自動車販売店等の営業が新たに許可される（ただし条件つき）。また、4月22日午前6時から無期限で、薬局及びガソリンスタンドを除き、月曜日から金曜日の午前9時から午前11時までは、65歳以上の者のみ入店が認められる。

【5月5日付公衆衛生局プレスリリース】

5月6日午前6時より、条件つきで、全ての小売店及びサービス業、美容院、理髪店、動物園及び植物園の屋外施設、屋外観光アトラクション、博物館、美術館、図書館、展覧会会場等の営業と、ミサ及び結婚式等の開催が許可される。ただし、公衆衛生局が規定する衛生基準を満たす必要がある。

35店舗以上の店を有する商業施設（大型ショッピングモール等）においては、一部例外を除き、小売店及びサービス業の営業が引き続き禁止される。

飲食店の営業に関しては、テラス席での飲食の提供が条件つきで許可される（店内での飲食は禁止）。また、宿泊施設（短期宿泊を含む）及びタクシー業（客の乗車を含む）の営業が、条件つきで許可される。

5月6日午前6時から無期限で、食料品店及びドラッグストアにおいては、月曜日から金曜日の午前9時から午前11時までは65歳以上の客のみ入店が認められる。

◆オーストリアによる入国制限措置の強化（4月13日付内務省プレスリリース）

4月14日午前0時より、スロバキアからオーストリアへ入国する者は、独語、英語、仏語、伊語のいずれかの言語で記載され、4日以内に医師によって発行された新型コロナウイルスの陰性証明書を提示する必要がある。

◆衛生政策研究所による感染拡大に関する最新予測（4月24日公表）

衛生政策研究所（保健省所管）は、感染予測に関する3つのシナリオを公表した。

（1）シナリオ1：国内の平均基本再生産数（R0）【注：1人の患者が何人に感染を広げる可能性があるかを示す指標。R0が1より小さい場合、感染症は終

息していく。】が1. 1且つ周縁部のコミュニティ【注：ロマ人集住地区を指すと思われる】における感染リスクが高い場合、ピーク時に国民の0.59%（約3万3000人）が感染。11月上旬の時点で、3万1933人が感染。

(2) シナリオ2：国内のR0が0.8且つ周縁部のコミュニティにおける感染リスクが高い場合、ピーク時に国民の0.1%（約5500人）が感染。9月中旬の時点で、5580人が感染。

(3) シナリオ3：国内のR0が0.8且つ周縁部のコミュニティにおける感染リスクが通常の場合、ピーク時に国民の0.05%（約2200人）が感染。4月下旬の時点で、2156人が感染。

◆国内感染者数の減少傾向（4月27日付スメ紙）

スロバキアでは、4月24日の新規感染者数が13名（検査数は4828件）、25日の新規感染者数が6名（同4839件）であり、感染者数が減少している【注：26日の新規感染者数は2名（同3171件）】。スロバキアは、人口あたりの感染者数がEUで3番目に少なく、人口あたりの死者数はEUで最も少ない。

内 政

◆政党支持率調査結果（4月21日）

世論調査機関AKOによる、2020年国会総選挙後最初の政党支持率調査の結果は以下のとおり（括弧内は支持率に基づいた議席数）。連立与党第4党人々のために（Za ľudí）の支持率は3.0%に落ち込んでいる。

政党	AKO	2020年選挙
OLaNO（普通の人々・独立した人達）	29.3%(56)	25.02%
Smer-SD（方向・社会民主主義）	18.3%(34)	18.29%
Sme rodina（我々は家族）	10.0%(18)	8.24%
SaS（自由と連帯）	9.7%(18)	6.22%
PS（プログレッシブ・スロバキア）	6.5%(12)	※6.96%
LSNS（我々のスロバキア）	6.4%(12)	7.97%

※PS/Spoluとしての得票率。PSは、2020年国会総選挙にSpolu(共に)と政党連合を形成して参加した。

◆連立与党による政権綱領の承認（4月20日付経済新聞）

4月19日、連立与党4党は、政権綱領を承認した。政権綱領の主なポイントは以下のとおり。

(1) 公的資金

財政健全化。2024年までの均衡予算達成。コロナ危機後の経済再始動。税負担の緩和。脱税対策。予算の透明化。

(2) 雇用

給与、社会的安定性及び生活水準の引き上げ。雇用の維持、新規雇用の創出。

(3) ビジネス

ビジネス環境の向上（法制度の簡素化、行政手続きの緩和）。税制度の簡素化。

(4) 食料品

食糧自給率の向上。国内生産者による良質で安全な食料品の提供。

(5) 交通・建設

鉄道及び道路インフラの保全強化。交通インフラ及び高速道路建設の継続。

(6) EU基金

投資・IT化担当副首相府オフィスを、投資・地域発展・IT省に改編する。同省はEU基金の分配等を担当する。

(7) 汚職対策

資産の入手経緯の開示責任に関する新たな法規範の導入。ロビー活動の管理。公的機関及び公共調達透明化。

(8) 教育

大学数の削減及び高等教育の質の強化。学生寮の改修。

(9) 医療

基礎医療システムの見直し。共同保健制度の導入。病院改革。安楽死の否認。胎児の生命の保護の促進。

(10) 安全

警察高官に対する嘘発見器による検査の義務化。

(11) 国防

軍装備の公共調達透明化。過激主義及び偽情報対策。

(12) 法の支配

立法プロセスへの国民の参加。検事総長選出プロセスの透明化。

(13) 外交

安全保障戦略の改定。難民帰還政策の促進と難民発生国における問題解決。人権及び法の支配の遵守が外交政策上の関心。

(14) 情報化

サイバー脅威対策。政府の電子サービスの質向上。

(15) 環境

気候変動対策に適応した経済システムの構築。大気汚染対策、リサイクルの

促進，水資源の保護，生物多様性の維持。

◆国会による政権綱領の承認，マトヴィチ政権の信任（４月３０日付 Dennik N 紙電子版）

４月３０日，国会（定数１５０名）は，出席議員１４１名のうち９３名（与党議員９２名，野党議員１名）の賛成により，連立与党の政権綱領を承認した。これにより，マトヴィチ新政権は国会の信任を得た。

連立与党議員９５名のうち，国会に欠席したツィガーニーコヴァー（自由と連帯（S a S）），ピウコヴァー議員（人々のために（Za ludi））及び長期病欠中のショフランコ議員（普通の人々・独立した人達（O L a N O））の３名を除く９２名全員が，政権綱領に賛成した。国会の保健委員長であるツィガーニーコヴァー議員は，医療保険制度の変更に関する政権綱領の内容に反対し，投票を欠席した。ルチェネツ市長を兼任しているピウコヴァー議員は，同市議会に出席するため，国会での投票を欠席した。

国会に出席した野党議員は，ファイチ議員（方向-社会民主主義（Smer-SD））を除く全員が，政権綱領に反対した。フィツォSmer-SD党首は，ファイチ議員の投票行動について，「同議員は単なるミスにより賛成票を投じてしまった」と述べ，同議員も政権綱領に反対している旨説明した。

外 政

◆コルチョコク外務・欧州問題相の正式就任（４月８日付スメ紙電子版）

４月８日，チャプトヴァー大統領は，コルチョコク外務・欧州問題相（S a Sによる指名）を正式に任命した。前駐米大使であったコルチョコク氏は，３月２４日に米国からスロバキアに帰国して以降，自宅隔離を行っていた。コルチョコク氏が外相に正式就任するまでは，スリーク経済担当副首相兼経済相が，外相職を兼任していた。

◆コロナ危機に関連したスロバキアによるイタリアへの支援（４月１４日付外務・欧州問題省プレスリリース）

４月１４日，スロバキア政府は，イタリア外務省及び保健省の要請に基づき，同国に対して２５万ユーロ相当の人道支援を提供する旨決定した。支援の内容は，①スロバキアの医療スタッフ及びボランティアの伊への派遣，②伊の患者のスロバキアへの受け入れ，③伊への衛生物資の提供，の３つの中から検討される。

経 済

◆税制・労働法改正案の国会可決（4月2～3日付 Dennik N 紙電子版，4月7日付スメ紙電子版）

4月2～7日，国会は，コロナ危機が収束するまで適用される税制・労働法の改正案を可決した。同法は，3月末に政府が発表した企業に対する支援策に関連している。同法の主なポイントは以下のとおり。

（1）4月2日に可決された法案

- ・ 税申告及び所得税支払いの延期。
- ・ 会計検査報告等の書類提出の延期。
- ・ 第三国からの医療物資輸入に係る関税及び付加価値税の免除。
- ・ 営業が禁止されている企業の従業員に対する，政府による給与の一部補填。
- ・ 売上が減少した企業及び個人事業主に対する，政府による支援提供。
- ・ 従業員に対して在宅勤務を命じる権限を，雇用者に付与する。
- ・ 営業停止中の企業は，在宅勤務中の従業員の給与額を80%に減額できる（従来は100%の給与を支払う必要があった）。
- ・ コロナ危機が収束するまでの失業手当の給付延長。

（2）4月3日に可決された法案

- ・ 40%以上売上が減少した企業及び個人事業主は，社会保障税の支払いを3か月間延期できる。

（3）4月7日に可決された法案

- ・ 中小企業，個人事業主及び個人は，銀行ローンの支払いを最大9か月延期できる。

◆財政政策研究所（財務省所管）による最新の経済予測（4月16日付財務省プレスリリース）

（1）GDP

2020年：7.2%減，2021年：6.8%増，2022年：4.1%増

（2）輸出

2020年：21.4%減，2021年：17.6%増，2022年：6.5%増

（3）輸入

2020年：25.5%減，2021年：19.0%増，2022年：6.5%増

（4）雇用率

2020年3.8%減，2021年：1.6%増，2022年：1.0%増

（5）失業率

2020年：8.8%，2021年：7.7%，2022年：6.8%

(6) 名目賃金上昇率

2020年：1.6%増，2021年：4.0%増，2022年：4.9%増

(7) 実質賃金上昇率

2020年：0.1%減，2021年：3.8%増，2022年：2.9%増

(8) 物価上昇率

2020年：1.7%増，2021年：0.2%増，2022年：1.9%増

◆欧州委員会によるスロバキアの雇用支援策の承認（4月21日付スメ紙電子版）

欧州委員会は、スロバキアの雇用維持及び個人事業主支援のための、20億ユーロの支援スキームを承認した。これにより、売上が20%以上減少した個人事業主は、1か月180ユーロ（40%以上の減少は300ユーロ，60%以上は420ユーロ，80%以上は540ユーロ）の給付金を受け取ることができる。また、国により営業が禁止された企業の従業員は、給与の80%が国によって補填される（従業員1名あたり1か月最大1100ユーロ）。

（了）

スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

